

## シャトルバスで宮スタへ GO!

今年のベガルタ仙台は6月まで利府の宮城スタジアムでのゲームが続きます。エコシティ仙台プロジェクトではこの機会に公共交通の利用促進キャンペーン「そうだ！バスで行こう！」キャンペーンを実施中です。

過去のアンケート調査では、ベガルタ仙台のホームゲームへ観戦に来た2万人の観客のうち、なんと60%が車を利用しているという結果が出ました。仮に1万人が車ではなく公共交通を利用すると1試合あたり約30トンの二酸化炭素を削減できます！

キャンペーンではスタンプ制度を取り入れ、スタンプの個数に応じてプレゼントを贈呈します。

まだ試験的なキャンペーンで改善点も数多くありますが、今後地下鉄やJRの利用促進策も検討し、楽天イーグルスや仙台89ERSのゲームにも広げていきたいと考えています。

皆さんもプロスポーツの応援に出かける際は、ぜひ公共交通をご利用ください！



©MIC



スタンプカード発行中

\*実施期間\*

2009年3月21日(日)  
～6月27日(土)

- ① シャトルバスチケットを購入しましょう！  
1回目はシャトルバスチケットを持ってプロジェクト窓口へ。専用スタンプカードがもらえます。
- ② 2回目以降はシャトルバスチケットと、チケット購入時に渡される専用スタンプカードを忘れずに！
- ③ 1回につき1つのスタンプを押してもらえます。



♪スタンプの個数に応じてプレゼントがもらえます！！  
何がもらえるかは楽しみ☆

※詳しくは「そうだ！バスで行こう！」プロジェクト窓口（総合案内または総合案内の近く）まで。



## MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク

第26回目の執筆者

進東健太郎さん  
(バス・バスターズ、  
財団法人宮城県伊豆沼・  
内沼環境保全財団研究員)

バス・バスターズは、宮城県北部の平野に位置する伊豆沼・内沼や周辺地域において、北米原産の肉食魚オオクチバス（通称ブラックバス）の防除活動や保全活動をしているボランティア団体です。

伊豆沼・内沼では、1996年以降にオオクチバスが急増し、捕食の影響を受けた小型魚類は激減してしまいました。このままでは伊豆沼・内沼の豊かな生態系は崩壊し、在来の生物が息できないことが明らかとなったため、伊豆沼・内沼の生態系を復元することを目標にオオクチバスの防除活動を行うことになりました。

伊豆沼・内沼での防除方法は、オオクチバスの繁殖を抑制することを目的に、人工産卵床を用いた卵や保護親魚の捕獲、三角網を用いた稚魚の捕獲を行います。これらの活動には多くの人手が必要であっ

たため、2004年2月にバス・バスターズが結成されました。

バス・バスターズの活動は、人工産卵床の製作から始まりました。資材は持ち寄りや寄付などで集まった材料を使って一個一個手作業で組み立て、出来上がった人工産卵床は、オオクチバスの繁殖が始まる4月下旬に沼へ設置し、その後観察と駆除作業を行います。6月には稚魚も出現するため、三角網を用いてすくい取って捕獲します。活動は繁殖期が終わる6月下旬まで続きます。また、秋には上流域にあるため池の池干しにも参加しています。

今後も伊豆沼・内沼の豊かな自然再生を目標に、バス・バスターズの活動を続けて行きます。

…次号執筆者…

呉地正行さん(日本雁を保護する会会長、MELON 理事)

2001年「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰(保全活動部門)

2005年9月 愛知万博(愛・地球博)

愛・地球賞を「日本雁を保護する会」として受賞  
著書に「雁よ渡れ」

